

石巻市震災復興基本計画(素案)に関する意見交換会

日時

平成23年12月10日(土) 14:00～16:30

会場

河北総合センター 文化交流ホール

参加者数

約250名

主なご意見

災害に強いまちづくり

質問・意見	回答
高台に移転しても防潮堤は造るのか。	県では漁業者を中心とした説明を行っており、景観が悪化するので、検討している段階であるが、中心部でTP9.7mの防潮堤を造る予定である。地域の方々と意見交換しながら高さなどを決めていく。
高台に集落ができたとして、浸水した平地に商店や事務所を作る人がいるのか。人は集まらないのでは。	まだ今回の津波被害による高台移転事業の事例がないので、他の地域の情報を収集したい。
高台移転後、戻ってくる人がいた場合、自分で造成するのか。	土地は、希望者の分を防災集団移転促進事業で造成する。今後、遠くに避難している人にも情報を提供し、この制度をうまく使ったまちづくりをしたい。原地区などは造成が難しくないで、今後の移転先として確保したい。
従前地の買取りは。	従前地は公共事業を行うなど必要があれば買取る。
浸水区域に住宅を建てた場合は、補助が出ないのか。	個人での移転は事業手法がなく補助はできない。
集団移転先として河北地区では道の駅周辺等、石巻地区は蛇田と渡波だが、雄勝の人が移転先としてそこを求めたときは応じられるのか。	制度上では可能だが、移転範囲は旧市町単位で考えている。
浸水地域は危険区域に指定して高台移転することが一番、補助率が良いようである。危険区域の設定は、雄勝を6地域に分けられないか。	高台移転は地区ごとに行いたいと考えている。危険区域を大きく指定したいが、そうできなければ区切ることも必要かもしれない。地区によって考え方に違いがあると思う
雄勝に住んでほしい、戻ってほしいなら高台移転は良い制度だと思うが、後で、戻る人もいるので、高台移転の希望を取る場合は時期を分けてほしい。	雄勝地域の住環境や学校などを整え、住民の方々に戻ってきてほしい。高台移転の合意を得られた地域から進め、それ以外の地域は意見交換しながら進めざるを得ないと考えている。時期を分けた調査については、戻る人を配慮して進めたい。

質問・意見	回答
国民が増税による負担をして復興の財源が確保されるので住民も考える必要がある。高台移転と盛土のどちらの費用が高いのか。	TP9.7mの防潮堤を築いたとしても、今回のような規模の津波からは守れない。盛土は技術的にも無理がある。
土地のかさ上げは農林水産省の事業があるのか。	漁業集落環境整備事業がある。事業主体は市となり、地盤のかさ上げ、切り土、盛り土ができる。漁業集落において地盤かさ上げが可能な事業があることは確認している。
雄勝は道路が実質2本しかなく、情報も伝えられないために孤立した。石巻雄勝線をぜひ、整備してほしい。	道路整備の重要性を改めて認識している。国土交通大臣に要望する。

【要望】

- ・住民合意のできている名振地区などについては、高台移転を早く進めていただきたいが、中心部は今後、意見集約等を図っていききたいのももう少し待っていただきたい。

市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す

質問・意見	回答
災害公営住宅は、1日も早く高台を見つけ、安い家賃で入居できるようにしてほしい。	災害公営住宅は早く造る必要があり、意見を聴きたいので、協力願いたい。

【要望】

- ・公営住宅は、1階に高齢者の相談室、2階は高齢者の居住、それ以上は一般の方の居住スペースなど工夫してほしい。

自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる

質問・意見	回答
すべての漁港を復旧するとのことだが、集約化は。	県から県内142港の集約、再編の案が示された。集約再編の前提は、全漁港の原型復旧である。原型復旧後、60港を拠点化し、集約再編する。特に漁港背後地の整備について、荷揚げ場等は復旧し、加工場等の共同利用施設は地域の意見を聞いて拠点港に集約する。永久的なものではなく、5年に1度見直しを図り、必要があれば拠点化すること。
区画漁業権は、高台移転した場合どうなるのか。	区画漁業権は、権限が市にない。県では漁協に権利を認めているので、その中での調整になると思うが、確認してお知らせする。